

議会運営委員会 送付 8-2

更なる議会改革を求める陳情

受付年月日 令和 8 年 1 月 16 日

陳情者 提出者 1 名

2026年1月14日

千代田区議会議長
秋谷 こうき 殿

氏名：

住所：

TEL：

更なる議会改革を求める陳情

記

平素より、区議会議員の皆様並びに区職員の皆様には、千代田区の行政にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、先日、千代田区議会のある会派より届いた「議会改革を推進中！」という文字の踊るレポートを拝見いたしました。議会改革に向けた取り組みを意識し、進めていただいていること自体は大変意義深いものと受け止めておりますが、現状を鑑みますと、依然として改善の余地が大きいのではないかと感じております。具体的には、千代田区議会本会議の映像配信および議事録の公開状況についてです。

私は2024年4月、千代田区議会本会議の映像をYouTubeで配信いただきたい旨の陳情（送付6-20）を提出いたしました。その際、議員の皆様および区職員の皆様から前向きに検討するとのご答弁をいただきましたが、現時点においても、配信は従来どおり「区議会インターネット議会中継」のみに留まっております。

現行の配信方式には、以下のような課題があると考えます。

- ・サーバー利用料等のコストが継続的に発生していること
- ・配信サイトのドメイン (kensakusystem.jp) ※ が千代田区公式ドメインと異なるため、検索エンジン上での露出（SEO効果）が極めて限定的であること
- ・生中継配信の場合、途中から視聴を始めた際に、最初から見る、早送りする、見逃した部分を少し戻って視聴するなどの操作ができないこと
- ・配信後、動画のアーカイブ公開までに早くても翌営業時間以降を要すること

※ なお、当該ドメインの保有者は、兵庫県に本社を置き、千代田区に東京支店を構える民間企業であることを確認しております。

一方で、YouTubeを活用した配信であれば、関連動画として自動的に表示されることにより多くの人々の目に触れやすくなるほか、配信当日から任意の時間からの視聴、巻き戻し、早送りなども可能であり、アーカイブとしての利便性やバックアップの観点からも大きなメリットがあると考えます。（同等のサービスがあれば、そちらでも構いません）

また、議事録の公開の遅れについても懸念を抱いております。区議会ホームページには「確定した会議録は、閉会後3か月を目途に会議録検索システムに掲載します。」と記載されていますが、2026年1月13日時点において、本会議については開催日が2025年5月23日の第1回臨時会までしか掲載されておらず、デジタル・トランスフォーメーション特別委員会に至っては、令和7年分の議事録が一件も公開されていない状況です。他の委員会についても同様に、公開の遅れが目立っております。



会議録検索システムである以上、キーワード等による容易な検索が可能であることが前提であると考えますが、現状ではその機能を十分に果たしているとは言い難い状況です。他自治体においては、既に第3回定例会までの議事録が公開されている例もあり、相対的に見て千代田区議会の情報公開は遅れていると言わざるを得ません。

つきましては、以下の点について強く要望いたします。

- ・これらの遅れが生じている原因を明らかにしていただくこと
- ・仮に委託業者に起因するものである場合には、契約更新のタイミングを見据えつつ、AI議事録自動作成ツール等の導入を検討し、区のDX化とコスト削減を同時に進めながら、議事録を迅速に公開できる体制を構築すること
- ・もし区議会事務局側の人員不足等が要因である場合には、体制強化（人員増強等）を検討していただくこと

議会の可視化および情報公開の充実・迅速化は、区民のみならず国民の理解と信頼を高め、議会改革を実質的に前進させるための重要な要素であると考えております。何卒、本陳情の趣旨をご理解いただき、更なる議会改革のために前向きなご対応を賜りますようお願い申し上げます。

以上

（ご参考）

- ・千代田区議会議事録ページ（2026年1月13日時点の魚拓）

URL:

<https://megalodon.jp/2026-0113-1813-35/https://www.city.chiyoda.tokyo.dbsr.jp:443/index.php/>